

平成 30 年度 基礎医学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

岩橋秀夫、大島 稔、大西基代、檜葉 均、東家一雄、戸田静男、深澤洋滋（五十音順）

B. 研究活動の概要

基礎医学ユニットは、化学、薬学、解剖学、生理学および東洋医学を専門領域として活動するメンバーにより構成されている。そのため、メンバーは各専門領域に関する研究テーマを中心に研究活動を行っている。以下に各メンバーの研究テーマを紹介する。

1. 岩橋秀夫

- ・生体分子由来フリーラジカルの検出および構造決定とその生成機構の解明
- ・非ワトソン・クリック塩基対の検出およびそれらの相対的安定性の決定
- ・紀伊半島南部における筋委縮性側索硬化症（ALS）多発要因の解明

2. 大島 稔

- ・視床—皮質投射系の研究

3. 大西基代

- ・抗酸化物質の検体検査への影響について

4. 檜葉 均

- ・脊髄後角における疼痛伝達及び鎮痛機構の形態学的および電気生理学的解析

5. 東家一雄

- ・リンパ系組織を対象とする機能形態学的研究

6. 戸田静男

- ・東洋医学の民族学的発展に関する研究

7. 深澤洋滋

- ・神経障害性疼痛の発症機序の解析
- ・紀伊半島南部における筋委縮性側索硬化症（ALS）多発要因の解明
- ・各種診療ガイドラインにおける鍼灸治療に関する記述の検討

C. 研究業績

著書・原著

i. 原著

Matsui Y, Iwahashi H. Radical formation in individual

aqueous solutions of some unsaturated fatty acids and in their mixtures.

J Clin Biochem Nutr. 2018 ; 63: 90-96.

Ishida R, Iwahashi H. Detection of protonated non-Watson-Crick base pairs using electrospray ionization mass spectrometry.

J Biochem. 2018;163: 215-222.

平尾幸久、東家一雄. マウス卵管の組織学的観察、特に卵管漏斗部（卵管采）に関する新しい知見. 関西医療大学紀要. 2018;12:1-7.

戸田静男：民間薬についての民俗学的考察. 近畿民俗 2018;185:1-9.

大川祐世、深澤洋滋、石崎直人、山下 仁、若山育郎. 第 9 回日韓鍼と EBM ワークショップ報告—日本および韓国の診療ガイドライン—. 医道の日本. 2018;77(8):122-124.

深澤洋滋. 2018 年度世界鍼灸学会連合会（WFAS）世界大会開催（パリ）. 医道の日本. 2018;78(1):135

若山育郎、山下 仁、深澤洋滋、大川祐世. 座談会 鍼灸と診療ガイドライン. あととはとき. 2019;2:4-14.

石崎直人、鶴 浩幸、齊藤宗則、深澤洋滋、増山祥子、川崎寛二、若山育郎. WFAS パリ大会報告. 全日本鍼灸学会誌. 2019; 69(1): 105-117.

3. 学会発表・学術講演

i. 学会発表

岩橋秀夫、石田莉葉子. 種々のプロトン化非ワトソン・クリック塩基対の安定性の比較. 第 91 回日本生化学会大会. 京都. 2018. 9.

檜葉 均. 基礎医学から見た慢性痛. 第 3 回関西医療大学校友会学術研修会. 大阪. 2018.10.

戸田静男. 民間薬についての民俗学的考察. 近畿民俗学会研究集会. 大阪. 2018.5.

戸田静男・貝原益軒『養生訓』巻第七用薬についての一考察. 第 69 回日本東洋医学会学術総会. 大阪. 2018.6.

戸田静男・養生書からみる鍼灸 (2). 第 67 回全日本鍼灸学会学術総会. 大阪. 2018.6.

Arakawa Y, Itoh S, Fukazawa Y, Ishiguchi H, Kohmoto J, Hironishi M, Ito H, and Kihira T. MicroRNA expression pattern of ALS patients in the high incidence area of the Kii Peninsula. 第 59 回日本神経学会学術大会. 札幌. 2018.5.

Fukazawa Y and Wakayama I. Japanese Clinical Practice Guidelines that include “Acupuncture-Moxibustion” : an Update on January 2018. The 9th Japan-Korea Workshop on Acupuncture and EBM. Osaka. 2018.6.

4. 研究費獲得状況

深澤洋滋 (研究分担者) : 女性のスポーツ傷害発症リスクの基礎的研究—鍼刺激による内在性ホルモンの適正化—、文科省科学研究費補助金 (基盤研究 C、平成 30 年～32 年度、課題番号 18K10911)

5. その他

なし

D. 社会活動・その他

岩橋 秀夫 : 日本生化学会代議員および評議員
日本酸化ストレス学会代議員

樫葉 均 : 出張授業「感覚のしくみ」私立高槻高校 (大阪府高槻市、6 月 27 日)

東家 一雄 : 日本解剖学会評議員

深澤 洋滋 : 全日本鍼灸学会国際部員